

【九州広域復興支援ファンド】 MabGenesis 株式会社に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構が九州地方の地域金融機関等と共同で設立した「九州広域復興支援ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、MabGenesis 株式会社(以下、「MabGenesis」という。)に対し投資を実行しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、本ファンドの第20号投資案件となります。

MabGenesis は、ヒトと動物の両領域で治療用の抗体創出を目指す宮崎大学発及び藤田医科大学発バイオベンチャー企業です。宮崎大学の血液がんに関する研究や、藤田医科大学の抗体に関する研究の成果を基に、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の大学発新産業創出プログラム(START)の助成を受けて2019年6月に設立されました。

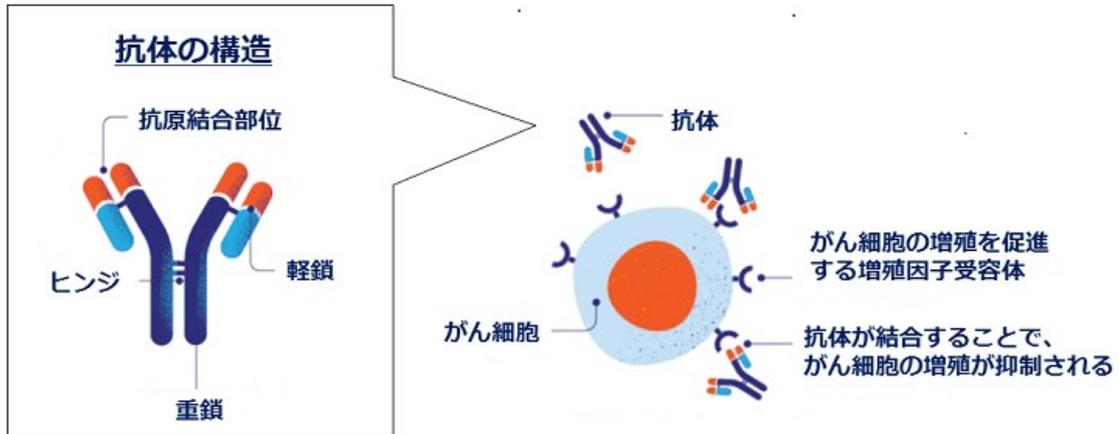
抗体医薬品は、一般的な低分子医薬品と比べて、がん細胞等の異常な細胞をピンポイントで攻撃する精度が高いため、高い治療効果と副作用の軽減が期待できる医薬品として注目されています。MabGenesis は、機能性と網羅性を備えた世界最高品質の抗体ライブラリー(MOURA library)と高効率な抗体単離技術(IMPACT)を有しており、当該独自技術により従来技術では取得が困難な、難易度の高い創薬標的に対する抗体を国内外の製薬企業に提供することで、新薬開発に貢献することが期待されます。

これまでに、①ヒトの医薬品開発に使えるヒト抗体の hMOURA library、②イヌの医薬品開発に使えるイヌ抗体の cMOURA library、③ネコの医薬品開発に使えるネコ抗体の fMOURA library、④ヒトやイヌ、ネコ等の多様な生物の医薬品開発に使えるラクダ抗体の cVHH MOURA library の開発に成功し、製薬企業へ提供しています。市場が成熟したヒト用抗体医薬領域においては、がんや感染症等の有効な治療方法がなく医療ニーズの高い疾患に注力し、実例数が少なく今後急成長が見込まれる動物用抗体医薬領域においては、様々な疾患に対する抗体取得を進め、抗体医薬分野のイノベーターを目指します。

本ファンドでは、MabGenesis の新規治療用抗体研究開発の加速及び基盤技術の拡充を後押しすることとし、更なる研究開発体制の強化に必要な資金の一部を支援いたします。

今後も、本ファンドは九州地域の活性化を通じて、当地の復興に貢献するため、九州地域の事業者及び同地域の復興に資する事業者に対する投資を行ってまいります。

【抗体の構造とメカニズム】



【投資先の概要】

企業名	MabGenesis 株式会社
本社所在地	神奈川県横浜市港北区
設立年月	2019年6月
代表者	新庄 勝浩
事業内容	抗体医薬品の研究開発
ホームページ	https://mabgenesis.com/

【九州広域復興支援ファンドの概要】

機構ホームページをご参照ください。

<http://www.revic.co.jp/business/fund/06.html>

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590